

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

V

数 学 ① $\left[\begin{array}{l} \text{数 学 I} \quad \text{数 学 I} \cdot \text{数 学 A} \\ \text{旧数学 I} \quad \text{旧数学 I} \cdot \text{旧数学 A} \end{array} \right] \left(\begin{array}{l} 100 \text{ 点} \\ 60 \text{ 分} \end{array} \right)$

I 注 意 事 項

- 1 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。特に、解答用紙の解答科目欄にマークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。
- 2 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

〔新教育課程履修者〕

出 題 科 目	ページ	選 択 方 法
数 学 I	4～16	左の2科目のうちから1科目を選択し、 解答しなさい。
数 学 I・数 学 A	17～31	

〔旧教育課程履修者〕

出 題 科 目	ページ	選 択 方 法
数 学 I	4～16	左の4科目のうちから1科目を選択し、 解答しなさい。
数 学 I・数 学 A	17～31	
旧 数 学 I	32～39	
旧数学 I・旧数学 A	40～47	

- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。
- 4 選択問題については、いずれか2問を選択し、その問題番号の解答欄に解答しなさい。
- 5 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。

6 不正行為について

- ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
- ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者がカードを用いて注意します。
- ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。

7 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

II 解答上の注意

- 1 解答は、解答用紙の問題番号に対応した解答欄にマークしなさい。
- 2 問題の文中の **ア**， **イウ** などには、特に指示がないかぎり、符号(－，±)又は数字(0～9)が入ります。**ア**， **イ**， **ウ**， …のの一つ一つは、これらのいずれか一つに対応します。それらを解答用紙の**ア**， **イ**， **ウ**， …で示された解答欄にマークして答えなさい。

例 **アイウ** に -83 と答えたいとき

ア	●	±	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
イ	○	±	0	1	2	3	4	5	6	7	●	9
ウ	○	±	0	1	2	●	4	5	6	7	8	9

なお、同一の問題文中に **ア**， **イウ** などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、**ア**， **イウ** のように細字で表記します。

- 3 分数形で解答する場合、分数の符号は分子につけ、分母につけてはいけません。

例えば、 $\frac{\text{エオ}}{\text{カ}}$ に $-\frac{4}{5}$ と答えたいときは、 $-\frac{4}{5}$ として答えなさい。

また、それ以上約分できない形で答えなさい。

例えば、 $\frac{3}{4}$ と答えるところを、 $\frac{6}{8}$ のように答えてはいけません。

- 4 根号を含む形で解答する場合、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えなさい。

例えば、 $\sqrt{\text{キク}}$ に $4\sqrt{2}$ と答えるところを、 $2\sqrt{8}$ のように答えてはいけません。

- 5 根号を含む分数形で解答する場合、例えば $\frac{\text{ケ} + \text{コ} \sqrt{\text{サ}}}{\text{シ}}$ に

$\frac{3 + 2\sqrt{2}}{2}$ と答えるところを、 $\frac{6 + 4\sqrt{2}}{4}$ や $\frac{6 + 2\sqrt{8}}{4}$ のように答えてはいけません。